

校歌



朝日に映える 善防の  
嶺に希望の 歌がある  
明るく 強く 健やかな  
若者の声 朝の声  
未来を拓く 英気あふる

涼風 小風 善防の  
水に理想の 絵図がある  
茜さす雲 青い空  
ゆたかな心 染めなして  
夢はひろがり 心はずむ

長の石山 のみ深く  
歴史を刻む 下里や  
賀毛のロマンを偲びつつ  
明るい窓の 顔と顔  
励みはげまし 進まなん  
ああ わが善防 善防  
善防中学校

蛍の光

蛍の光 窓の雪  
ふみよむ月日  
重ねつつ  
いつしか年も  
すぎの戸を  
明けてぞ けさ  
は  
別れゆく

とまるも行くも  
限りとて  
かたみに思う  
ちよろずの  
心のはしを  
一言に  
さきくとばかり  
歌うなり